

平成23年3月1日

1. 出席議員

議長	牟田勝浩	副議長	小池一哉
1番	朝長勇	2番	山口等
3番	上田雄一	4番	山口裕子
5番	山口良広	6番	松尾陽輔
7番	宮本栄八	8番	石丸定
9番	石橋敏伸	10番	古川盛義
11番	上野淑子	12番	吉川里巳
13番	山崎鉄好	14番	末藤正幸
16番	小柳義和	17番	吉原武藤
19番	山口昌宏	20番	川原千秋
21番	杉原豊喜	22番	松尾初秋
23番	黒岩幸生	24番	谷口攝久
25番	平野邦夫	26番	江原一雄

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局長	筒井孝一
次長	松本重男
議事係長	川久保和幸
議事係員	森正文

4. 地方自治法第121条により出席した者

市		長	樋	渡	啓	祐
副	市	長	前	田	敏	美
教	育	長	浦	郷		究
技		監	松	尾		定
政	策	部	角			眞
政	策	部	山	田	義	利
営	業	部	渕	野	尚	明
く	ら	し	古	賀	雅	章
こ	ど	も	馬	渡	公	子
ま	ち	づ	森		信	公
山	内	支	牟	田	泰	範
北	方	支	川	内	野	夫
会	計	管	國	井	雅	裕
教	育	部	浦	郷	政	紹
水	道	部	宮	下	正	博
総	務	課	松	尾	満	好
財	政	課	中	野	博	之
選	挙	管	大	宅	敬	一
監	査	委	大	曲	洋	一
農	業	委	西	村	益	生

議 事 日 程 第 1 号

3月1日（火）10時開議

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	議長の諸報告
日程第4	市長の提案事項に関する説明
日程第5	教育長の教育に関する報告

開 会 10時

○議長（牟田勝浩君）

皆さんおはようございます。ただいまより平成23年3月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました第3号議案から第34号議案までの32議案を一括上程いたします。

日程第1 会期の決定

日程第1. 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。山崎議会運営委員長

○議会運営委員長（山崎鉄好君）〔登壇〕

皆さんおはようございます。平成23年3月武雄市議会定例会の招集に基づきまして議長から諮問がありましたので、2月28日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告申し上げます。

議長から諮問がありました事項は、第1. 会期及び会期日程について、第2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3. 一般質問の質問順序について、第4. 各特別委員会の中間報告について、以上4項目でございます。

本定例会において審議されます議案は、ただいま議長から上程になりました条例議案7件、事件議案2件、予算議案23件の計32件でございます。

なお、追加議案として人事案件2件が予定されております。

以上の件について協議いたしました結果、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございますが、審議順序は議案番号順に行い、議案の委員会付託については第12号議案 平成22年度武雄市一般会計補正予算（第12回）及び第23号議案 平成23年度武雄市一般会計予算につきましては所管の常任委員会に分割付託することとし、その他の議案については所管

の常任委員会に付託することに決定いたしました。

次に、一般質問は8名の議員から26項目の通告がなされております。

質問順序の抽せん結果はお手元に配付のとおりであります。質問順序は抽せん番号順に4名ずつ、3月8日、9日の2日間で、開会時間はいずれも午前10時、質問時間は、答弁を含めて90分であります。

また、議案審議2日目の11日は、午後1時開議といたします。

次に、各特別委員会の中間報告の件でございますが、10日の議案審議に先立ち報告を行っていただくことになりました。各特別委員長にはよろしくお願いいたします。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は本日1日から17日までの17日間が適当である旨決定いたしました。

なお、日程等の詳細につきましては、お手元に配付のとおりであります。

以上で議長の諮問事項に対する答申を終わります。

○議長（牟田勝浩君）

お諮りいたします。会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日1日から3月17日までの17日間を決定したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日1日から3月17日までの17日間とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第2. 会議録署名議員を指名いたします。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第81条の規定により、3番上田議員、23番黒岩議員、26番江原議員の3名を指名いたします。

日程第3 議長の諸報告

日程第3. 議長の諸報告を申し上げます。

諸報告については、お手元の文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4 市長の提案事項に関する説明

日程第4. 市長の提案事項に関する説明を求めます。

一部追加の申し出がっておりますので、これを許可しております。樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

おはようございます。

平成23年3月武雄市議会定例会の開会に当たり、市政運営の状況及び方針について私から御説明申し上げます。

まず、昨年4月の市長選挙におきまして、武雄市長として2期目の任につかさせていただきました。

き、間もなく1年を迎えようとしております。

この間、1年間、一緒に選ばれた市議会議員の皆さんとともに、武雄市をよくしていこう、もっと武雄市を注目していただこうということで取り組んでまいりました。

その中で、さきの選挙におきまして、私としては、市民の皆様の切なる声を真摯に受けとめ、それにこたえるべく「みんなの政策集」を掲げました。

その上で、着任以後におきましては、その実現に向けて取り組んできたところであります。この1年間で、その幾つかについて、既に着手実行に移すことができました。

例えば、病院への通院、買い物に必要な移動手段がなく、日常生活にお困りの方々の新たな支援策として、「みんなのバス」の実験運行を開始いたしました。

また、結婚を望んでいながら、出会いの場がないなどの理由によって、それがかなわず、悩んでおられる方々を支援する「お結び課」、がんの早期発見に有効な検診を勧める「がん検診率向上課」を設置しました。

こうした施策を実施し、武雄市の知名度を上げていくためには、議員や職員のみならず、多くの人と人とのつながり、産業間につながり、武雄市のみならず武雄市以外の同じ思いを持つ人とのつながりが重要であるとの認識に至りました。

私としては、新たな年度を迎えるに当たり、住みよい武雄市の実現に向けて、必要な取り組みを「つながる」キーワードと掲げたいと思います。

その中で、市政のさらなる推進のため、4月1日付で、議会のお許しをいただければ、新たに「つながる部」を設置をいたしたいと考えております。

この「つながる部」は、行政が市民の皆様方と「つながる」、あるいは市民の皆様同士が「つながる」というように、「つながる」を、重ねてでありますけれども、今後の市政のキーワードととらえ、これらに関連する施策を行うための部を再編いたします。

具体的には、現在の政策部で山田理事が主に担当するもののうち、こうした「つながる」ための施策を行う課に位置づけられる秘書広報課、企画課、市民協働課、男女参画課、お結び課を「つながる部」の所管といたします。

現代社会は、多様な人や組織、団体活動等が「つながる」ことによって、新たな知恵、価値、発想を生み、それらがよりよい社会、住みよい社会の変革のための大きな原動力となる時代だと言われております。

特に近年は、ツイッター、フェイスブックに代表されるようなインターネットのソーシャル・ネットワークング・サービスの急速な普及によって、そうしたさまざまな主体のつながりはさらに加速し、また「つながる」ことによって、生まれる力が強大となっております。

新武雄市が誕生し、ちょうど5年が経過をいたしたところであります。この5年間は、まさに新武雄市としての一体感の醸成のため、それまでの市の境、町の境を越えて市民の皆様が「つながる」ための取り組み、また、武雄市の知名度向上のために、武雄市が外に向かっ

てつながるための取り組み、さらに武雄市の抱える課題を共有し、これを解決するために市民の皆様と行政が「つながる」ための取り組みを続けてきた5年間だったということができようかと思えます。

こうしたこれまでの取り組みを踏まえ、さらに今後、よりよい武雄市とするために、市政運営の視点に「つながる」というキーワードを位置づけ、これを市民の皆様と共有するために、名は体をあらわす「つながる部」を設置したいと考えております。

本件は最後に改めて申し上げます。

また、レモングラス、イノシシに次ぐ、新たな武雄の特産品の開発を目指します。佐賀新聞にも掲載をされましたが、特産品課にトロピカルフルーツ係を設置いたしたいと考えております。

これらを含め、より効果的、効率的な市政運営を図るため、新年度におきまして所要の組織改編を行います。

続いて、組織改編以外の事項についてご報告申し上げます。

まず、新武雄病院のオープンであります。

新武雄病院については、平成22年2月1日の民間移譲以降、これまで旧市民病院の施設を利用して運営をなされておりましたが、いよいよこの6月、国道34号沿いに新築・開院の運びとなりました。

また、これに先立ち、4月には、武雄看護リハビリテーション学校が開校されることとなっております。これらの開院、開校の効果は武雄市の医療環境のさらなる向上はもちろんのこと、「みんなの政策集」にも「メディカル・リンク・タウン 医療でつなぐまち」として掲げておりますように、雇用や観光、ひいては農業など、さまざまな分野、産業に「つながる」ことが期待されているものであり、それにとどまらず、行政として積極的に「健康・医療でつながるまちづくり」を進めるべく、活用を図ってまいりたいと考えております。

次に、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印について御報告申し上げます。

セバストポール市との交流につきましては、まさに武雄市が海外と「つながる」取り組みとして旧山内町時代の昭和60年に姉妹都市締結が行われて以来、これまで「やまうちワールドフレンズ協議会」、福田会長が中心となり、子どもたちが相互に訪問を行うなど、継続的な交流が行われてきたところであります。

言うまでもなく、合併以後においても、姉妹都市締結は現に有効であり、また交流の参加者自体も市内全域に広がりを見せつつあります。

姉妹都市締結から25年を経過したことを記念として、セバストポール市との再調印を行うこととし、具体的な諸準備を開始いたしたところであります。

現段階では、具体的な調印日程等については、セバストポール市との協議を行っている段階であり、協議が整い次第、議会、議員各位には、事前に御報告申し上げた上で、再調印を

行いたいと考えております。

次に、市民病院の民間移譲に関する住民訴訟の進捗状況についてであります。

2月臨時会で申し上げたとおり、「求釈明申立書」に対する原告側の回答が大幅におくれ、3月4日に口頭弁論が開催されます。

もうね、半年もおくれているんですよ、半年も。もっと真剣にやりましょう。もう、市民がかわいそうですよ。

裁判に当たりましては、武雄市が行った市民病院の民間移譲が、正当な手続のもとで行われたことを誠心誠意説明し、明らかにしてまいる所存であります。

最後になります。つながる部の設置であります。

つながる部の核として、今般、フェイスブック係を設置いたします。フェイスブックは、皆様御案内のとおり、世界じゅうで中国の人口が13億人、インドの人口が12億人、フェイスブックの利用者は、何と5億人に達しております。特に、アメリカ合衆国におきましては、人口48%の方がフェイスブックを利用しているという統計データもあります。

これは若い人たちがばかりではなくて、例えばアメリカ、フランス、イギリス等を拝見いたしますと、高齢者の皆様方がフェイスブックを活用されているというデータもあります。

そういった中で私といたしましては、この行政こそが、フェイスブックを中心といたします、ソーシャルネットワークというインフラを積極的に活用する職務、責務があると思っております。

その中で、私どもといたしましては、市ホームページのフェイスブック化、あるいは今、全職員がツイッターのアカウントを持っておりますし、多くの市民の方々がツイッターを持たれておりますけども、ツイッターとフェイスブックの連携と、武雄市がそのモデルをつくってまいります。これこそがフェイスブック革命、市役所革命と位置づけております。

以上、市政の主な事項について御説明申し上げましたが、議員各位におかれましては、今後とも市政運営に対し御指導、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げまして、私の演告とかえさせていただきます。

ありがとうございます。

○議長（牟田勝浩君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

続きまして、今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

新規条例として提案しております「武雄市過疎地域自立促進特別事業基金条例」につきましては、過疎地域自立促進特別措置法に規定する事業の円滑なる運営を図るため、基金を設置するものであります。

一部改正条例につきましては、先ほど市長より御説明いたしました組織機構の見直しに伴

う「武雄市部設置条例の一部を改正する条例」、老人保健法の一部改正による経過措置期間の終了に伴い、武雄市老人保健特別会計を廃止するための「武雄市特別会計条例の一部を改正する条例」、休日急患センターの診療日の拡充を図るため、「武雄地区休日急患センター設置条例の一部を改正する条例」の外3件を提案しております。

次に、事件議案では、新産業集積エリア開発事業宮裾地区造成その4及びその5の工事の工期の延長について議会の議決をお願いしております。

続きまして、予算議案につきまして主なものを御説明申し上げます。

平成23年度の当初予算議案につきましては、一般会計予算の外9件の特別会計予算と2件の公営企業会計予算を提案しております。

まず、一般会計予算でございますが、予算総額212億7,892万9,000円で、対前年、前年度は当初予算は骨格予算でございますので、前年度6月補正後と比較しまして6%の伸びとなっております。

歳出予算の主なものとして、子ども手当を中学校修了までの子ども1人につき月額1万3,000円を、3歳未満の子どもに限っては7,000円を上積みして1人につき月額2万円とするための経費、小児夜間救急外来について、土、日、休日の開設であったものを6月から新たに平日における診療を一部拡充し、急な病気への対応ができる医療体制の整備に要する経費などを計上し、子育て支援の充実を図ることにしております。そのほか40歳から60歳までの節目の年齢、つまり40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方への肺がん、胃がん、大腸がん等への検診無料クーポンを配布し、がん検診率の向上を図ることにしております。

また、現下の厳しい雇用情勢に速やかに対応するため、国の緊急雇用創出及びふるさと雇用再生特別交付金を原資として県において造成された基金事業を活用した各種事業を行い、地域経済の浮揚と雇用の拡大を図ることにしております。

続きまして、平成22年度補正予算議案では、一般会計補正予算（第12回）の外10件を提案しております。

一般会計では、事業費の最終見込みによる調整のほか、財政調整基金、公共施設整備基金への積み立てや市債の繰り上げ償還に要する経費を計上し、将来の財政需要等に備えることにしております。

なお、詳細につきましては、議案審議の際、それぞれ説明させていただきます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

日程第5 教育長の教育に関する報告

○議長（牟田勝浩君）

日程第5. 教育長の教育に関する報告を求めます。浦郷教育長

○浦郷教育長〔登壇〕

おはようございます。教育に関する報告を申し上げます。

初めに、学校教育について申し上げます。

今年度新規事業として「特色ある学校づくり推進事業」に取り組みました。1月8日には、その一つである武雄北中学校で生徒、教職員全員でつくった「夢」看板が校舎に掲げられ、完成セレモニーが行われました。

そのほか、山内西小学校では、縄跳びの技術向上のためにジャンピングボードを自作したり、西川登小学校では児童の誕生日に1冊の本をプレゼントし、家庭でも読書に取り組んでもらうなど、特色ある学校づくりが行われました。

12月21日、山内東小学校ではiPadを活用した公開授業を行いました。また、昨年度整備したホワイトボード型の電子黒板とその周辺機器等を、さらに学校規模に合わせ1台から4台整備する予定であります。授業の工夫改善に役立ててもらおうよう期待をしているところです。

現在、各学校におきましては、新学習指導要領完全実施となる次年度に向けて準備を進めています。

学校施設の整備につきましては、武雄中学校教室等の建築工事に着手しました。また、山内中学校につきましても工事の着工に向けて準備を進めているところです。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

1月3日の成人式は、文化会館に新成人559名が集い、実行委員の運営により盛大に挙行することができました。2月19日と20日には文化会館で活動している文化サークルの発表の場として「文化サークルフェスタ」を開催しました。

青少年教育につきましては、わんぱくスクールのスキー研修、北海道雄武町での児童交流を通し、子どもたちは厳しい寒さを体験しながら交流を深め、たくましさを増してきました。「トムソーヤフェスティバル」では、日ごろの活動を元気に発表してくれました。

生涯スポーツの振興につきましては、12月に「第6回武雄市各町対抗駅伝大会」を開催、2月13日には「第3回武雄市長杯ファミリー・フットサル交流会」を開催したところ、29チーム387人が参加し、フットサルを楽しみながら交流を深めることができました。

2月12日から開催された「第66回国民体育大会冬季大会 あきた鹿角国体」のスキー競技に武雄市在住の知北大典選手が出場されました。

「第51回郡市対抗県内一周駅伝大会」では、選手一丸となって健闘され、総合で第6位の成績をおさめられました。

次に、文化振興事業では、武雄市内の中学校吹奏楽部員で構成する武雄市民ジュニアウインドオーケストラの発表会を文化会館大ホールで開催いたしました。

文化財関係では、武雄が生んだ偉人、山口尚芳氏の功績をたたえる範蔵まつりが花島公民館で区民や関係者を交えて厳かに行われました。

1月26日には第57回全国文化財防火デーにちなみ、武雄温泉楼門周辺で火災防御訓練が実

施され、市民や園児が寒い中、熱心に見守りました。

2月1日におつぼ山神籠石の保存管理計画策定委員会を開き、最終原案を確定しました。
パブリックコメントを受けて計画書を作成したいと考えています。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、主な行事につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

今後とも、さらなる御指導、御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

○議長（牟田勝浩君）

以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

散 会 10時23分